平成３０年２月１９日

第１学年保護者の皆様

利府町立菅谷台小学校
校長　内海　喜久子

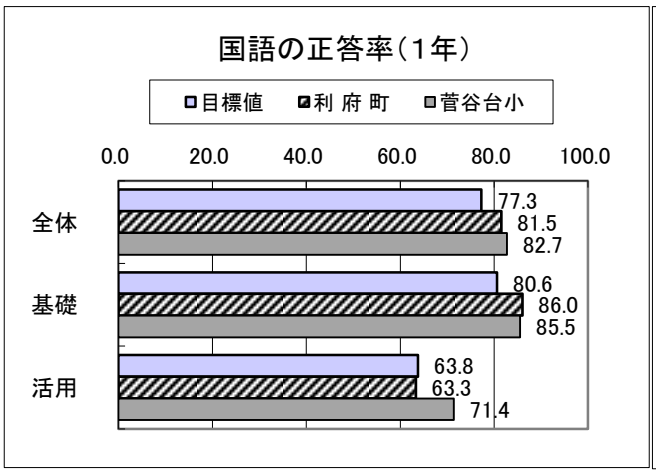
２９年度　標準学力調査の結果とこれからの取組（１学年）

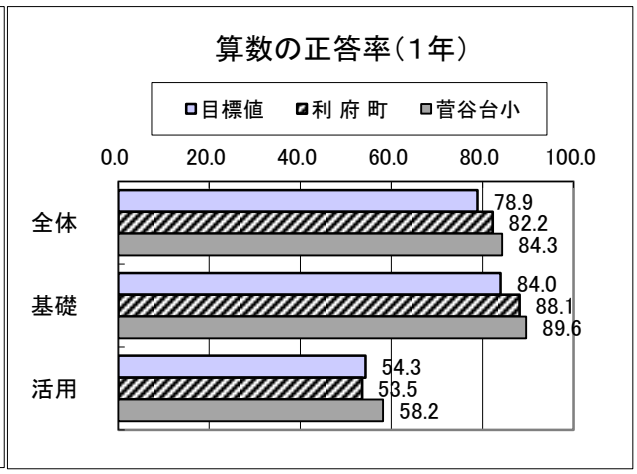
２学期末に行われた標準学力検査の結果と今後の取組についてお知らせいたします。また，児童には一人一人に検査の結果と学習のポイントが書かれた個人カードを配付いたしました。ご家庭でも学習への取り組み方等についてお子さんと話し合い，励ましの言葉をかけていただければと思います。

尚，試験用紙の配布は町外に未実施の学校があるため，３月１２日以降にいたします。

学年全体の結果から

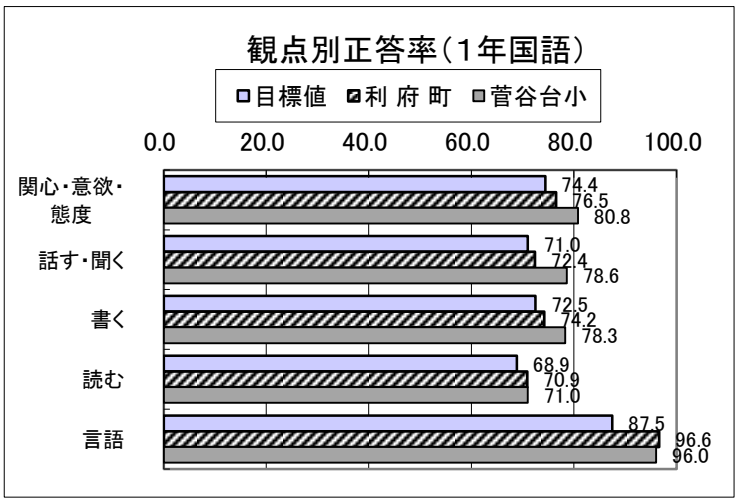
目標値とは，データに基づいてこの数値まで到達してほしいラインを表したものです。実際の正答率とは異なりますが，およそ全国平均の数値と近いもので，結果を比較する目安となる数値です。





- 国語については，全体で 5.4 ポイント，基礎で 4.9 ポイント，活用で 7.6 ポイント目標値を上回り，学習内容が身に付いていることが分かりました。
- 算数については，全体で 5.4 ポイント，基礎で 5.6 ポイント，活用で 3.9 ポイント目標値を上回り，学習内容が身に付いていることが分かりました。

【国　語】　◎　よくできていた点　●　課題としてあげられる点



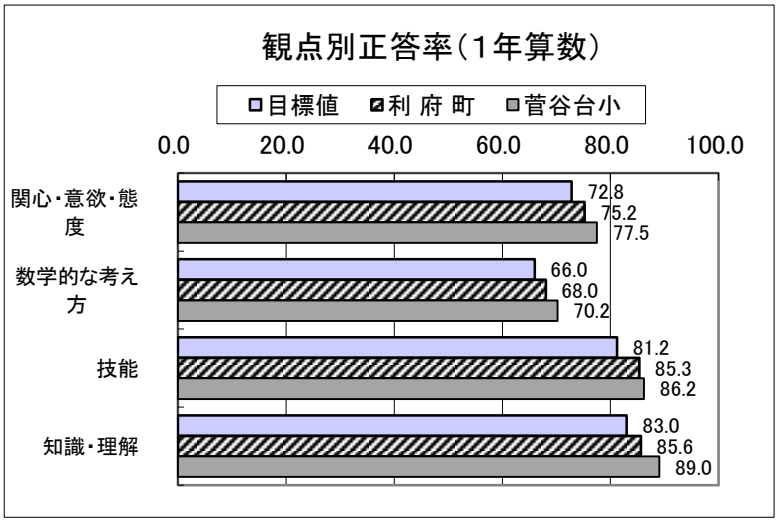
◎　大事なことを聞き落とさないように気を付けながら聞き取る問題の正答率が高くなっています。

◎　なぜそう考えたのか，自分の考えが明確になるように文章を書く問題の正答率が高くなっています。

◎　第１学年配当漢字を読む問題の正答率が高くなっています。

●　説明文で，事柄の順序を考えながら内容を読み取る問題の正答率が低くなっています。

【算　数】　　◎　よくできていた点　　●　課題としてあげられる点



◎　たし算やひき算，３口の数の計算の問題の正答率が高くなっています。

◎　たし算の場面の文章問題を読み，立式して答えを求める問題の正答率が高くなっています。

●　数の違いを求めるために，ひき算の立式をして答えを導く問題の正答率が低くなっています。

●　５とびで並んだ２０までの数の順序を問う問題の正答率が低くなっています。

今後の取組

☆　国語では，読書を奨励して，様々な文章に親しむ機会を増やし，内容を正しく読み取ることができるようにしていきます。

☆　算数では，どのような場面でひき算を使うのかを復習し，正しく立式できるように習熟を図っていきます。

　ブロックや百玉そろばんなどの教材を活用し，数の構成の定着を図っていきます。

個人票『あなたの結果』の見方

①　**教科正答率（%）**

　すべて正解の場合は１００．０%になります。あなたの欄のお子さんの数値と目標値（到達してほしい数値）を比較しておおよその目安としてください。

　右側の児童のみなさんへの文章をお子さんと一緒に読んでみてください。

②　**内容別の正答率**

　国語と算数それぞれの問題の内容別にお子さんの正答率を表しています。評価は目標値との比較により，３段階で表されています。特に▲だった内容が目標値を下回っていることを表します。

　表の下にはお子さんへのアドバイスが記述されています。自主学習に取り組む際の参考にしてください。

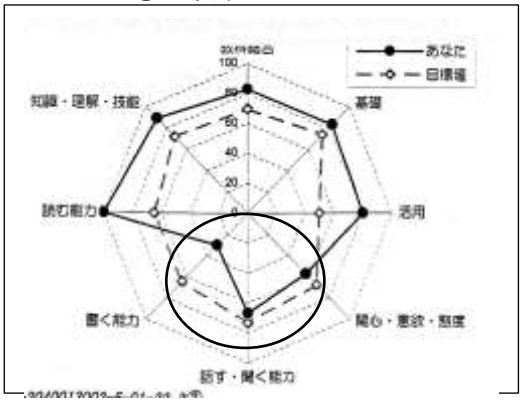
（例）　　小学校１年　さんすう

問題の内容	正答率（%）		評価
	あなた	目標値	
２０までのかず	８０．０	８２．５	○
たしざん	８７．５	７７．９	◎
ひきざん	６５．４	８１．４	▲
総　合	７８．５	７９．５	○

▲の評価であるひき算の学習が目標値を下回っていることがわかります。

※詳しくは，個人票の裏面をご覧ください。

③　領域別のグラフ



『目標値』より内側の値（○の中の部分）は目標に届かなかったことを表します。